

実習目的

1. 組織の機能を知り、他組織・多職種との連携とチームケアの実際を学び看護の役割を理解する。
2. チームの中で、複数の対象者・家族の看護を実践する。
3. 自己の看護観と今後の課題を明確にする。

実習目標

1. 病院組織、看護部組織の概要を知る。
 - 1) 精神医療施設における病院組織の概要と理念を知る。
 - 2) 看護部組織の概要を知り、目標を設定した管理の必要性について考えることができる。
 - 3) 看護部の教育理念にあった看護師育成のしくみについて知る。
2. 看護チームの役割と機能について理解することができる。
 - 1) 精神科病棟における看護師長、リーダー看護師、メンバー看護師の業務を知る。
 - 2) 看護チームの一員として、メンバーシップに基づいた行動をとることができる。
 - 3) 患者へのケアが、24時間継続して提供されていることを知る。
 - 4) 患者へのケアが、他職種と協働して行われていることを知る。
 - 5) 地域で生活する対象者と家族を支援するための取り組みについて知る。
3. 複数の対象者に対するケアをマネジメントし、責任をもって看護を行うことができる。
 - 1) 精神科病棟において、複数の患者を受け持ち、ケアに必要な情報を収集することができる。
 - 2) 収集した情報をアセスメントし、個々に応じたケアの方向性を考えることができる。
 - 3) プライマリーナースが立案した看護計画を参考にしながら、タイムスケジュールを立てることができる。
 - 4) 複数の受け持ち患者に対して、ケアの優先順位を考えることができる。
 - 5) 看護師が提供したケアの臨床判断について、その意味を理解することができる。
 - 6) 患者の状態やケアの結果について、リーダー看護師に報告することができる。
4. ケアに際して、ヒューマンエラー防止の必要性を理解することができる。
 - 1) 精神科病棟で、起こりやすいヒューマンエラーの特徴を知り、説明することができる。
 - 2) ヒューマンエラー防止のために行われている方法について知り、説明することができる。
 - 3) ヒューマンエラーを起こした場合の対処方法について知り、説明することができる。
 - 4) 医療事故防止のために行われている組織的な取り組みやシステムについて知る。
5. 専門職として、対象者の尊厳を守り、看護倫理に基づいた行動をとることができる。
 - 1) 患者の価値観を考慮し、患者の意思を尊重した言葉かけや対応をとることができる。
 - 2) 患者のプライバシーに、十分配慮することができる。
 - 3) ケアの必要性について、分かりやすく説明することができる。
 - 4) 患者に対するケアに責任をもち、報告・連絡・相談をすることができる。
 - 5) 学生としての自覚を持ち、患者に対して自分ができることとできないことを表現することができる。

実習期間 令和2年6月29日（月）～ 7月10日（金）

実習時間 実習施設の日勤の勤務時間

実習施設 医療法人信和会 荒尾こころの郷病院
医療法人横田会 向陽台病院
医療法人信和会 城ヶ崎病院
医療法人回生会 山鹿回生病院

実習方法

1. 学生は実習前に事前準備について説明を受ける。
2. オリエンテーションを受け、10日間の計画を立てる。（様式2）
3. 病棟実習では、2名の患者を受け持つ。
4. 受け持ち患者は、病棟指導者及び教員と相談の上選定し、必ず事前学習を行う。
5. 受け持ち患者の情報収集は、病棟での実習初日に行う。（様式3-1、3-2）
6. 収集した情報から、アセスメント・看護の方向性を導き出し、看護計画を立案する。（様式4）
7. 複数患者のケアについて優先順位を考慮し、立案した看護計画をもとに毎日、タイムスケジュールを作成する。（様式5）
8. 実施したケアを振り返り、病棟指導者の看護師としての臨床判断の意味を押える。
9. 看護部長に、病院組織・看護部組織の概要、及び特徴的な取り組み等についての講話を受ける。
10. 看護師長やリーダー看護師に同行し、管理の実際を学ぶ。その際、複数の受け持ち患者のケアについてもタイムマネジメントを考慮する。
11. 学生カンファレンスは、病棟指導者を交えて毎日30分間行う（様式6）。最終カンファレンスについては、看護統合実習のまとめ（様式7）を資料として配布する。
12. 最後の2日間は、大学において個人のまとめと発表会を行い、学びを共有する。
13. 10日間の実習を振り返り、評価基準に沿って自己評価を行う。（様式1）

評価方法

評価表（様式1）に基づき実施

1. 出席：実習施設での実習4日以上出席した学生が評価の対象となる。
2. 配点：実習目標の達成度・発表状況・実習態度等をもとに、総合的に評価する。
3. 記録：事前学習、指定された実習記録、課題レポート等の内容とする。
4. 提出締切：実習最終日の14:40までとする。

評価基準 <4点×25項目>

- 4：助言がなくてもできる
- 3：少しの助言でできる
- 2：ある程度の助言でできる
- 1：全面的な助言が必要
- 0：助言を受けてもできない

実習スケジュール

日程	実習内容	ポイント
1日目	全体・領域オリエンテーション 事前学習、実習計画、自己の実習動機、目標の確認	・実習の準備、具体的実習計画立案
2日目	午前 病院・看護部に関するオリエンテーション 午後 病棟オリエンテーション、受け持ち患者決定、情報収集	・具体的な実習計画の調整 ・看護部長の講話 ・受け持ち患者情報収集
3日目	病棟実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの優先順位 ・治療の効果・意味 ・看護師の臨床判断の意味 ・師長・主任・リーダー業務機能 ・各勤務体の申し送り内容 ・組織、継続看護について学ぶ ・委員会活動の必要性
4日目		
5日目		
6日目		
7日目	病棟外実習	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携、退院支援に関する部署の見学を行う ・訪問看護に同行する ・(デイケア、作業所等)の見学を行う) ・最終学生カンファレンスを企画・運営する
8日目		
9日目	<ul style="list-style-type: none"> ・各学生がテーマを決めプレゼンテーションの準備を行う(各自が受け持った事例を発表してもよい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習目標に沿ってのまとめ ・各学生の学びをプレゼンテーションする。 ・全体の学びを深める
10日目	<ul style="list-style-type: none"> ・各学生がテーマを決め発表を行う ・実習記録をまとめる 	

提出記録用紙

- (様式0) 表紙
- (様式1) 看護統合実習(精神看護学領域)評価表
- (様式2) 看護統合実習計画用紙
- (様式3-1) 基礎データ
- (様式3-2) 生活歴データ
- (様式4) アセスメントおよび看護計画
- (様式5) 毎日の記録
- (様式6) 看護統合実習のまとめ